

七月、九七歳の別れ

Yさんの突然の「死」は、二ヶ月後の今も、信じられないほどです。彼女の認知症を含むさまざまな症状はとてつもないユニークで、介護は試行錯誤の連続でした。「おしっこ」の訴えは連続し、一晩に二〇回トイレ介助したこともあり。その活発さは、大腿骨折時のレントゲン写真に、「バキッと折れている」と医師が言ったことにも現れています。

思い返せば、彼女は七月に入ってから変化を見せていました。「私は死ぬの？」「お父さん（二年前ご逝去）にお詫びをして、許されなかったら切腹する」とも。亡くなる四、五日前には「ヤスコちゃん、マミさん、カズコちゃんありがとう」と家族への感謝を大声で発し、職員がそれを記録していました。

一三日朝、枕に何か吐いていました。その日は一日中眠り、名前を呼ぶと、小さく「はい」とのお返事だけ。食欲はなく、「おしっこ」が出ません。翌朝、腹部に腫れが見られ、主治医に相談して救急搬送。点滴で回復するだろうというほどの気持ちでした。

救急外来で、「腸ねん転」という重篤な病気が判明しました。医師は高齢であることと発症から一日以上経過していることから、「間に合わない。余命は二、三日」と伝え、ご家族も納得されました。

Yさんは翌未明、意識が戻ることなく静かに旅立たれました。合掌。

管理者 森川万智子



栗ご飯になりました



重たかよ～



ちゃんと体も動かします。

だいじょうぶよ～
イチ・ニツ・イチ・ニツ

秋です！

放生会も始まりました。



食欲の秋。
芸術の秋。
読書の秋。
行楽の秋。



目・鼻・口・手・足、自分で動かせるところは動かして、美味しく楽しく秋を楽しみましょう！



母里太兵衛である

光雲神社に行きました



まだまだ、若いもんには…

女は度胸、何とかなるさ

講演会<幸せな老後と看取りのために> (仮)

必要な時に必要なサポートを受けましょう。
医療・介護の連携がお役にたちます。
どなたでもどうぞ、お待ちしております。

10月13日 (金) 13:30～15:00
於：日佐公民館地域団体室
講師：友田 桂先生
主催：友田病院医療法人友愛会

<今月の作品>

これはもちろん<彼岸花>
またの名を ♪赤～い花なら♪でお馴染み<曼珠沙華>



どう？



デイサービス・ケアプランあけぼの

〒811-1313 福岡市南区日佐4丁目23番9号

電話 092-586-7451 FAX 092-586-7458

☆無料体験・見学・介護相談随時受け付けております。お気軽にお越しください。

☆定員13名。民家を利用した小規模デイサービスです。

自費によるお泊り、看取りケア、高齢者下宿での見守りも行っています。

※「あけぼのだより」に掲載されている写真はご本人様の了解をいただいております。